

入院診療計画書(食道癌手術を受ける患者様へ)

ID番号 @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME 様

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM 号室

病名 (他に考える病名)

症状

担当医師 @USERNAME

担当看護師

担当薬剤師

@SYSDATE

月日	入院日 (/)	術前日 (/)	手術日 (/)		術翌日	術後2日~6日目	術後7~14日目	術後14日~20日目	退院日 (/)
経過	入院や手術に関して不安があれば、遠慮なく相談してください		検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。		ICUから一般病棟へ移ります				退院
目標	手術への準備ができています。 安心して手術に臨むことができます。		手術室入室までの流れ □麻酔科医師指示の内服薬があれば、服用して下さい □排便がなければ、浣腸をします □入浴 □採血 □12時 下剤を服用 □医師が肩に名前を記入 □準備物品の確認 □21時 下剤の服用 ※水分は手術日の朝まで摂取可能です。		痛みが強いときや、呼吸が苦しいときは、スタッフに知らせるようにしましょう	少しずつ、行動範囲を広げましょう ※リハビリの欄をご覧ください	経腸栄養の注ぎ足し、内服薬の注入ができるようにしましょう	ほとんどの日常生活が自立できる	外来受診について定期受診は必ず行なうようにしましょう。
検査	手術に必要な検査をします		□腹部に毛の処理 □おへその掃除 □入浴 □採血 □12時 下剤を服用 □医師が肩に名前を記入 □準備物品の確認 □21時 下剤の服用 ※水分は手術日の朝まで摂取可能です。		必要に応じて 採血・レントゲン写真		術後1週間目以降に、食道透視の検査があります	この検査で、食事が開始できるか確認します	
処置	基本的に処置はありません 禁煙です!!		□弾性ストッキングをはいて下さい。(弾性ストッキングは看護師が用意します) □化粧やマニキュアを落として下さい □義歯・眼鏡・時計・ヘアピン・指輪などを外して下さい □髪の長い方は、ゴムで2つに結んで下さい □点滴をして手術室へ向かいます		痛み止めの管が抜けます 一痛むときは、他のお薬を使用しますので遠慮無く相談して下さい 酸素吸入は、マスクが外れ鼻からの吸入に変わります。 痰をやわらかくする吸入を行います 心電図モニターが終了します	創子に入っているドレーンが抜けます	経腸栄養の注ぎ足し、内服薬の注入方法に関しては、パンフレットをご覧ください	以下の症状があるときは、受診日以外でも来院してください。 ・腹痛がひどい時 ・便やおならがなく、お腹の張りが続いている時 ・嘔吐が続き、吐き気がひどい時 ・黒い便が出た時 ・高熱が出たり微熱が何日も続く時 わからない点、不安な点がありましたら、医師や看護師にご相談ください。	
注射	基本的に注射はありません		□不安なときは、ポータブルトイレを用意します		※術中に、「腸ろう」という管が 腹部に入ります	尿管の管が抜けます 胃の管が抜けます			
内服	飲んでのお薬は、全て看護師にお知らせ下さい。		普段飲んでいる薬は、術前日もいつもどおり飲んで下さい。中止薬があれば、説明します。						□次回受診まで、必要な分のお薬が処方されます
食事	入院日の食事に制限はありません。 食事にアレルギーなどがあれば相談してください。(希望により、食事変更ができます)例) ご飯→お粥 牛乳→ヨーグルト		術後許可が出るまで、飲んだり食べたりできません				医師の許可があれば、水を飲むことができます 食事が開始される場合は、パンフレットに沿って説明を行います		職場復帰や旅行などは、医師に相談して下さい。
清潔行動	活動、入浴に制限はありません		シャワー許可が出るまで、清潔に関するお手伝いをします			食えることが出来ない期間が長くなります。口の中を清潔に保てるように、毎日うがいや歯磨きを行います		入浴のときは... 熱いお湯は体の疲労を伴います。長湯にならないようにしましょう。	
リハビリ	スーパール呼吸訓練を行います 自宅で運動量に比較し、入院すると筋力が低下します。できるだけ体を動かすことをおすすめします。		麻酔から覚めたら深呼吸をしましょう 血栓予防に足の底背屈運動を行って下さい。 つま先を頭の方へ向ける つま先を伸ばす		術翌日 できれば足を垂らして座ってみましょう 日中はできるだけ起きていきましょう	術後2~3日目 立ちましょ 足ぶみましょ 術後4日目~ どんどん歩きましょう 毎日歩きましょう			
説明	病棟での日常生活をご案内します。手術の予定を説明します。		麻酔科医師の問診があります。手術室とICU看護師の説明があります。		ご家族の方へ病棟のあるロビーでお待ち下さい。離れる場合は、待機場所をお知らせ下さい。	点滴や尿管、ドレーンが絡まる場合がありますので、座るときや立ちあがるときは看護師を呼んで下さい。	初めて歩行する時は、看護師が付き添います。術後早期に歩き始めた方が、回復も早くなります。	□栄養指導を行います	□次回予約票を渡します □リストバンドを外します

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名:

続柄:

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無